

医学・医療に関連する商業紙報道 見出し・概要 (平成21年9月1日～9月30日)

官公庁の医療政策		新聞	掲載日
社保病院 公営を維持	厚労相指示 売却方針転換	朝日	9.22
鴨川で社会保障カード実験	亀田病院がシステム開発 来年1月にも市民に配布 【概要】年金手帳と健康保険証、介護保険証の機能を併せ持つ「社会保障カード」。来年2月から7月まで実証実験。	千日	9.14
特養での「たん吸引」解禁へ	介護職にモデル事業 厚労省来年度にも本格実施 【概要】口元のたん吸引、胃に直接管を通したり鼻からチューブで栄養補給する「経管栄養」の補助を、介護職員が試験的に行うモデル事業を経た後、介護職員が担う範囲を決め、来年度から導入する。	長日	9.6

病院経営

治療実績を主要医療機関へアンケートした「病院の実力」評価	2008年度の年間手術件数等の評価基準を、形成外科の治療分野ごとに設けて評価した「病院の実力」。全国版と千葉編に分けて掲載。(16面、28面)	読売	9.6
勤務医 心の疲れ「深刻」9%	日本医師会調査 「週に何度も死考えた」5%	朝日	9.3
07年度 医療費最高の34兆円	1人当たり26万円超 【概要】2007年度に病気やけがの治療で医療機関に支払われた医療費の総額が34兆1,360億円で過去最高。高齢化や医療の高度化に伴う自然増との見解。	山日	9.3

地域医療

千葉県 医療再生特別交付金を活用	2医療圏で計画策定へ 【概要】総額100億円を活用し、香取海匝、山武長生夷隅の2医療圏で地域医療再生計画を作成。香取海匝地域は、銚子市立病院の休止、山武長生夷隅医療圏は唯一救急医療センターがないため対象とされた。	千日	9.3
日本初の「国際医療認証」	鴨川市の亀田メディカルセンター 【概要】国際的な医療評価機関のジョイントコミッションインターナショナル(JCI)から認定。JCI認証は国内で初めて。	千日	9.4

救急・救命

救急車、呼ぶ前に 7119	「救急安心センター」来月から試行 医師ら24時間対応、病院紹介も	朝日	9.9
救急車搬送時間 過去最悪	昨年 出動件数は減少	朝日	9.9

救急医療基本法の制定を	島崎修次・杏林大学医学部教授の提言 専門医不足に起因する急患受け入れ拒否解消は法整備が急務(11面)	読売	9.5
-------------	--	----	-----

### 産科・小児科

開業医ら悲鳴	来月始まる出産一時金 入金2カ月後・・・資金繰り悪化	毎日	9.22
川崎病 全国で急速拡大	自治医大調査 4年連続で年間1万人超 【概要】主に4歳以下の乳幼児が罹る川崎病。07年が1万1,581人、08年が1万1,756人で1万人を超えたのは4年連続。	千日	9.13
千葉市 分娩手当、1/3補助	千葉県内初 産科医確保で支援 【概要】補正予算案に産科医確保支援事業の補助額2,890万円を計上。分娩1件当たり1万円の手当てのうち、国の補助3分の1に加え、新たに市が3分の1を負担する提案。政令市ではさいたま市に次いで2番目の導入。	千日	9.9

### 臓器移植

医療新世紀・特編	透析患者に生きる希望 「経験者」選択肢の一つに加えて	山日	9.14
病気腎移植が再開	移植学会 妥当性を疑問視 説明と同意のあり方も批判		

### 生涯教育

開業医認定制 来春から	日本医師会 3年更新で質確保	朝日	9.27
-------------	----------------	----	------

### 医療事故・訴訟

混合診療「禁止は適法」	東京高裁判断 患者側、逆転敗訴	朝日	9.30
胃癌入院の男性患者にサリドマイド	多発性骨髄腫の治療薬として再承認されたサリドマイドを、国立病院機構仙台医療センターで誤投与。(34面)	読売	9.4
人工呼吸器から空気漏れ患者の状態悪化4件	厚労省、注意促す 【概要】人工呼吸器の回路内に発生した水滴をためる機器の接続が不完全だったため。日本医療機能評価機構の調査。	山日	9.3

### 医学・医療・科学情報

患者遺伝子でも差	日本の研究班 C型肝炎治療の効き目	朝日	9.14
待ちかねた「ゴーサイン」	患者を生きる 妊娠と出産 心臓・血管	朝日	9.9

後期高齢者医療制度	政権交代へ向けた政策 「廃止を」世論の期待大 新たな医療費抑制は	朝日	9.9
悲しみを受け止める場に	いのちを紡ぐ第5部・死と向き合う 終末期医療のいま 「生と死を考える市民の会」の公開講座	信毎	9.4
普及進まぬホルモン補充医療	更年期障害 産科婦人科学会など指針を発表	朝日	9.4
「健康」1割未満 過去最低	昨年の人間ドック受診者	毎日	9.4
「無保険の子」救済 新聞協会賞	保健証ないねん、先生、湿布くれ 少年の一言がきっかけだった	毎日	9.3
日本医師会 民主党に軸足を移す	9割を占めていた自民党系支部や議員への政治献金配分を見直し、発言権を確保する狙い(37面)	読売	9.3

### 新型インフルエンザ関連情報

#### ・感染動向

9月、10代前半の患者が急増	国立感染症研究所調査 7月6日～9月20日の報告を分析(14面)	読売	9.30
子どもに重症肺炎	急激に呼吸困難 沖縄で5例	毎日	9.14
休校や学級閉鎖 全国で772施設に	大半が新型インフル	朝日	9.9
新型インフル 季節性より強力	米機関発表	朝日	9.2

#### ・国際動向

豪、働き盛りが重症化	ブラジル 死者の1割は妊婦	朝日	9.18
市内の全小学生にワクチン無料	ニューヨーク市 100万人が対象(夕刊2面)	読売	9.2

#### ・ウイルス

千葉県で耐性ウイルス	耐性ウイルス検出は6例目(31面)	読売	9.10
------------	-------------------	----	------

#### ・ワクチン

国が600億円負担	低所得者の接種	朝日	9.29
生産増、2700万人分に	国内産ワクチン 優先接種の拡大検討	朝日	9.25

順番・副作用なお課題	ワクチン接種 「持病」範囲絞り込み メーカー、補償に難色	朝日	9・25
自己負担のワクチン接種費用は一律	厚生労働省の方針 全国の地域や施設で費用負担の格差をなくす。(26面)	読売	9・22
ワクチンの限界を理解する	ワクチンで感染自体は防げず、重症化の予防が主な目的(15面)	読売	9・22
賠償金国が肩代わり	輸入ワクチン被害で検討	信毎	9・22
妊婦の90% 効果確認	季節性インフルワクチン接種 国立成育医療センター 「新型」にも期待	信毎	9・20
ワクチン、欧州が先手	製造大手抱え、大量発注 途上国で不足の懸念	朝日	9・18
ワクチン調達 85カ国が不能		毎日	9・19
国産ワクチン治験へ	今日(17日)から 4病院	朝日	9.17
輸入ワクチン治験へ	鹿児島の成人対象 スイスの製薬大手ノバルティス社 【概要】輸入ワクチンとして国内初の臨床試験。健康な成人200人に接種。今回は海外での承認を条件に国内での治験を省略できる「特例承認」を適用。	山日	9.13
ワクチン確保にめど	厚労省「輸入で5000万人分」	朝日	9.11
接種は来月下旬から	厚労省案 数千円、原則自己負担 副作用補償へ法整備 民主検討、企業は免責	朝日	9.9
機関限定し予約制	厚労省が接種実施案	朝日	9.8
日本、ワクチン確保後手	遅れた輸入の検討 生産技術 欧米と差 政策作り仕組み欠如	朝日	9.5
安全性や費用 不透明	輸入品に不安の声 補償制度にも課題 順位の趣旨説明必要	信毎	9.5
医師・妊婦らから接種	厚労省方針	朝日	9.5
民主がワクチン副作用対策	臨時国会 補償額アップ 法整備へ	毎日	9.3

### ・抗インフル薬

抗インフル新薬、11月上旬申請	塩野義が国産初 来秋発売目指す	朝日	9・30
タミフル早期投与を	感染症学会 新型インフル診療指針	朝日	9.16
外来の1～5歳 全員に治療薬投与を日本小児科学会が推奨	【概要】国立成育医療センター(東京)の治療方法を推奨した。先天性心疾患や慢性腎不全など基礎疾患がある子どもについては、年齢に関係なく治療薬を投与する。	山日	9.14

タミフル供給3倍に	中外製薬が計画	朝日	9.8
-----------	---------	----	-----

・集団感染

集団感染1.4倍	前週(8月31日～9月6日)比、厚労省調べ	朝日	9.17
長野県 新型インフル流行入り 1週間で集団感染34件	長野県が地区別詳細情報提供 厚労省は10月上旬ピークと予測 【概要】1定点当たり1.51人と、4週間連続で「1人」を超えた。県健康づくり支援課は、患者数や集団感染発生状況などを地区別に示し「終息するまでは発表する方針」。	長日	9.5
集団感染1.5倍	24～30日・前週(8月19日～8月25日)比 新学期が影響か	毎日	9.3

・死亡報告

北九州市 49歳男性	9月30日 基礎疾患なし -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
大阪府岸和田市 70歳代、女性	9月23日 基礎疾患(糖尿病、高血圧、白血病) -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
滋賀県守山市 7歳、男性	9月21日 既往症(周期性発熱症候群の疑い) -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
神戸市 60歳代、女性	9月20日 基礎疾患(乳がんからの全身転移) -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
福岡県久留米市 66歳、女性	9月20日 基礎疾患(喘息及び慢性閉塞性肺疾患) -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
横浜市 12歳、男児	9月17日 既往症(気管支喘息) -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
基礎疾患がない沖縄の24歳死亡	木津川市の男性(69)	朝日	9.16
大阪府四条畷市 40歳代、男性	9月9日 -厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料-		
90代男性死亡	新型感染疑い 11人目、宮城で	朝日	9.8
京都で9人目死者	木津川市の男性(69)	千日	9.3

・対策

松本 信大医学部がシンポ 感染拡大防げ	【概要】地域における情報共有と対策充実を掲げた企画で、医療従事者や住民約300人が参加。流行を収めるには人口の4割が免疫を得なければ」とワクチン接種の重要性を強調。	長日	9.22
新型インフルエンザ大流行に備え 節度ある「受療行動」を	厚労省の対策推進本部員 上田博三健康局長に聞く 「小児ICU」「ウイルス性肺炎」対策カギ ワクチン 輸入は海外の先行例確認 副作用補償は新政権判断	朝日	9.18

重症 手遅れを防ぐために	新型インフルエンザ 子どもどう守る 岡山県 症状・緊急度で役割分担 医療資源効果的に活用 長野県内の対応 医療圏別に協力体制確認へ	信毎	9.14
受け入れ要請半数以下	新型インフル重症患者 都道府県調査 予想以上の流行対応にばらつき	朝日	9.12
産婦人科の受診可能	妊婦の新型インフル疑い時	朝日	9.10
指導冊子の配布「来年度早々」に	文科省 前倒し	朝日	9.8
食料品備蓄を2週間分が目安	[概要]基本は缶詰、レトルト食品など6カ月以上保存ができるもの。(財)ベターホーム協会は献立例を作成しホームページ( <a href="http://www.betterhome.jp">http://www.betterhome.jp</a> )に掲載。	長日	9.6
山梨県 南アルプス市 投票所職員感染 公表せず	翌日確認、庁内だけ「注意」 [概要]職員は30日午前7時から午後8時まで投票事務、終了後は開票事務に従事。市は「市民の不安をあおる」と、市民への公表は控えた。	山日	9.3
山梨県 新型用入院ベッド確保半分	ピーク時300人の入院患者の想定に対し、150床にとどまる。(31面)	読売	9.3

#### ・対処法

新型インフル家庭での対策は	タオル別々に使用を 妊婦ら 早めの相談必要	信毎	9.4
こんな症状は危険!	重症化の兆候	毎日	9.1

#### ・社会生活への影響

「追試難しい」私大苦慮 国立大は統一对応を検討	[概要]文科省は感染者の追試の実施を求め、追試の方法などの指針を10月中にも各大学に通知。国立大は全86校で統一して日程などを検討。都市部の私大は事情が複雑。	千日	9.26
感染判明の血液製剤回収 日赤、新型インフルで	[概要]千葉県と大阪府の赤十字血液センターから8月に出荷された血液製剤。献血者から後日、「新型インフルエンザと診断された」と連絡を受けたため、同月中に回収した。	千日	9.16
「感染していない」証明の簡易検査	医師らは、無用な検査受診をしないよう訴える。(夕刊1面)	読売	9.15
長野県 県内企業24%に悪影響 売り上げや来客減少 長野経済研究所	[概要]県内786社を対象に調査し、393社から回答があった。企業の約70%は「影響はない」としている。調査時点で県内への感染があまり広がっていなかったため「企業への悪影響は軽微」としている。	長日	9.5
長野県 新型インフル「影響」23.9%	長野経済研 県内企業調査 「事業継続計画」策定7.9%どまり	信毎	9.4

長野県 スーパーで県キャンペーン	大流行前提に備蓄を 県産食材をPR 【概要】「感染を避けるためには、不要不休の外出をしないことが重要」と、県産食品の紹介チラシを店頭に置き呼びかけている。	長日	9.4
------------------	---	----	-----

・インフルエンザ関連商品

新型インフルウイルスを完全除去 ダイキン、空気清浄機に新技術採用	【概要】ウイルスを100%分解、除去することをベトナム国立衛生疫学研究所との共同実験で実証したと発表。「ストリーマ放電」と呼ぶ浄化技術。	長日	9.21
-------------------------------------	--	----	------

・結論

接種への疑問、問いかけ続く	インフルエンザ[検証 昭和報道]	朝日	9.28
死を招く肺炎 続く闘い	[インフルエンザ災害3]	朝日	9.16
流行入り 新型インフル 感染を広げないためには	【概要】罹患率を20%とした場合、ピーク時は1日当たり約76万人の患者が発生し、入院患者が4万6000人に上る。患者数は約2500万人、10月上旬頃が流行のピークとなる。	長日	9.6
対策に空白は許されない		朝日	9.5
政権移行で遅れは禁物		毎日	9.3

・その他

スペイン風邪拡大 刻々と 速水融・慶応大名誉教授に聞く	[明治・大正期の記事・広告データベース] 「死者45万人」大被害から学べ	朝日	9.30
新型インフル治療でも注目	抗体医薬で合従連衡 大手参入相次ぐ	朝日	9.26
新型インフル教材に授業	友達が感染 その時みんなは 東京の小学校	朝日	9.24
新型インフル重症例集	厚労省公表 簡易検査陰性の場合も	朝日	9.21
「発熱」の名称が患者集中一因に	神戸市医師会が検証	朝日	9.8
インフル脳症に新指針	厚労省研究班 新型流行に備え	朝日	9.4

注記 1. 千日：千葉日報 長日：長野日報 信毎：信濃毎日新聞 2. 日本経済新聞は著作権等があり除外。

3. 読売新聞の見出しは著作権の関連で新聞掲載記事のものとは違います。